

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍で家族が満足に面会に来れず、利用者の様子がわからないとアンケートにあったので、写真を増やし、言葉を添えて、生活の様子がわかるようなお便り作りを期待します。	お便りの写真を増やし、利用者様の生活の様子が利用者様家族に今より分かるようにする。	お便りの写真を各ユニット毎にし、写真のいずれかに利用者様の様子が映るようにする。利用者様家族と連絡する際に、利用者様の様子を伝えると共にお便りに対する意見を聞き、お便りの作成にフィードバックしていく。	3ヶ月
2	35	発電機と備蓄が袋井のケアセンターに保管されているので、緊急の時の対応を明確にし、すばやく対応できるようにしてください。災害の想定が限られているので、さまざまな場合を想定して訓練されるよう期待します。	災害等による緊急時の対応を職員に周知し、すばやく対応できるようにする。さまざまな災害に対応できるよう防災訓練を行っていく。	袋井ケアセンターと相談。緊急時に利用する発電機、備蓄の流れを明確化する。防災訓練を行う際、さまざまな場合を想定するよう広く意見を聞き防災訓練に反映していく。	6ヶ月
3	49	外食や花見などの外出レクリエーション活動に取り組んでいたが、今は滞っている。コロナ禍終息後は十分に行われることを期待します。	外出レクリエーション活動を十分に取り組み、利用者様の日々の生活が今より張り合いの良いものになり、思い出が残せる。	敷地内、施設周辺の散歩、外気浴、花壇の花を見て季節を感じて頂き、階段昇降などにより利用者様の下肢筋力低下を防ぎ、外出レクリエーション活動に参加できるよう努める。コロナ禍終息後を見越し、外出レクリエーション活動を計画する。	6ヶ月
4	2	地域住民や保育園、小学校等との交流が滞っている。コロナ禍終息後、交流が十分に行われ、施設が地区に周知されていくことを期待します。	コロナ禍が終息後、地域住民や保育園、小学校等との交流を再開、継続していく。	施設周辺の散歩や地域コミュニティセンター祭りなどを利用し近隣の住民と顔なじみになれて、地区の方に施設の事を周知して頂ける。ボランティア活動の受け入れ要請があれば積極的に受け入れていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。